

第74回 定期総会議案

と き 2025(R7)年3月26日(水) 午前9時30分開会

ところ 千曲市「更埴文化会館(信州の幸 あんずホール)」

目 次

(一部) はじめに.....	1
この一年間の運動をふり返って.....	3~15
表彰者・物故者.....	16
2024年度経過報告.....	17~19
2025年度運動方針(案).....	20~27
1. 組織・教宣対策	
2. 賃金・住宅・技術・安全対策	
3. 制度・サービス事業	
4. 組合財政	
(二部) 長野県建設国民健康保険組合.....	1~7
労働保険及び一人親方労災保険.....	8~14
労働金庫.....	15
建設業退職金共済制度(建退共).....	16
けんろう共済、国保医療共済.....	17~18
こくみん共済coop《全労済》の共済制度の利用について..	19~20
助け合い共済給付一覧.....	21
けんろう火災共済、けんろう自動車共済.....	22
現場賠償責任共済(パートナー).....	23
長野県工務店協会(ゆうゆうCLUB21).....	23
千曲市との災害協定、災害対応時組合員登録のお願い.....	24~25
(三部) 組合規約.....	1~10
(四部) 本部役員名簿	
(五部) 第74回定期総会スローガン(案).....	裏表紙

長 埴 建 設 労 働 組 合

〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川874-1
TEL 026-293-3995(代表) FAX 026-293-5833
URL <https://tyousyoku.org>
E-mail kenrou@rouge.plala.or.jp

ホームページ



第74回定期総会運営次第

- | | | | |
|--------------------|------|----------------------|-------|
| 1. 開会の辞 | 9:30 | ②第2号議案（2024年度会計報告） | |
| 2. 総会成立宣言 | | ③第3号議案（会計監査報告） | |
| 3. 物故者へのもくとう | | ④第4号議案（2025年度運動方針提案） | |
| 4. 組合長あいさつ | | ⑤第5号議案（2025年度会計予算提案） | |
| 5. 建設労連あいさつ | | 10. 2025年度役員の確認 | |
| 6. 総会表彰 | | 11. スローガン確認 | |
| 7. 来賓祝辞 | | 12. 議長退任 | |
| 8. 議長選出 | | 13. ガンバロー三唱 | |
| 9. 議 事 | | 14. 閉会の辞 | 12:30 |
| ①第1号議案（2024年度経過報告） | | | |



全建総連のうた

- 1 たくましい仲間の 腕がっちりと
ひびけこの槌 ゆるがぬ棟だ
このひとふりが 未来をきずく
そこに燃えたつ 全建総連の旗がある
われらわれら 建設労働者
- 2 生活（くらし）の灯（ひ）消すものに たぎる怒り
勇気もて立ち上がれ 仲間たち
そのひとふりが 幸せをよぶ
そこにはためく 全建総連の旗がある
われらわれら 建設労働者
- 3 打ちおろす槌の音 たからかに
団結固く つきすすむ
このひとふりが 平和をかちとる
そこにかがやく 全建総連の旗がある
われらわれら 建設労働者

は じ め に

2022年から団塊世代が75歳に到達し始め、2025年には75歳以上の後期高齢者は、人口全体の18%を占めると予想されています。そして高齢者の増加により、年金・医療・介護のニーズが高まり2025年問題に対応するため、政府は「全世代型社会保障検討会議」を設置しました。

組合においても、高齢化到来により社会構造の変化やそれに伴う雇用や医療・福祉など課題があります。また建設業は若者離れが多い職種になり職人を育て難くなっています。新加入者も少なく組合の加入者も自然減となっています。執行委員会でも加入者を増やす運動を方針案に掲げました。(まずは声かけをお願いします。)

国内では、毎年のように自然災害が起きています。いざという時、私たち建設業の出番です。皆で助け合い協力しましょう。

組合活動は活発に事業が行われました。その中で、幹部学校を開催し、長野県建設労連の歩みと題して、宮澤主任書記から講演があり、歩みの中に昭和27年(1952年)長埴建設労働組合結成、連合会加盟(8/18)があり、翌年には日雇健康保険法が成立(8/7)との歴史がありました。今から73年前の出来事になります。

現行補助金確保に向けてのハガキ要請行動に、ご理解ご協力いただき感謝いたします。

8月12日・12月4日の安全パトロールは、労働基準監督署と組合役員とで行いました。足場に対するルールが強化された関係で指摘事項は少なく、職人さんの意識づけもされていて状況は良くなっていました。ご苦労様でした。

9月2日～24日、7年ぶりの開催となる一斉集会が8会場で行われ、一斉集会用テキストで組合の歴史や今後の保険証についての説明を行いました。

執行部による修繕活動が、11月9日、千曲市内11ヶ所の保育園・児童館に対し実施しました。小川市長の激励を受け各施設に分かれて作業を行いました。執行委員の皆さんご苦労様でした。

12月18日、千曲市・坂城町に対し、建設業の担い手確保・育成に向けた制度創設等を求めた懇談会を実施し小川市長から要望事項に対し丁寧な回答をいただき、山村坂城町長との懇談では町として出来ることは限られるが公共建築物の木造利用など、前向きやっっていくとの回答をいただきました。

組合員の皆様におかれましては、今後も組合活動への積極的な参加協力をお願いします。

組合長 山 崎 康 成

長埴建設労働組合 御中

定期総会の開催おめでとうございます。

物価の上昇を上回る賃金引上げが叫ばれる中、中小零細事業者には価格転嫁が厳しく、私たち零細企業で働く労働者や一人親方の賃金は僅かな上昇にとどまっています。そのような状況におきまして、建設労連の組合活動に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、建設労働者の命と健康、生活を守るため、日々奮闘されている貴組合に心から敬意を表します。

引き続き、若者が希望を持てる建設産業にしていくために、建設現場の処遇改善、賃金・単価の引き上げ、建設国保の育成・強化、組織拡大、仕事確保などの諸運動に組織一丸となって取り組みましょう。

本大会を機に、貴組合が益々発展されることを心より祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

令和七年三月二十六日

長野県建設労働組合連合会

執行委員長 花岡

幸



この一年間の運動をふり返って

1. 組織・教宣対策

(1) 組織拡大、組織強化、活性化に向けて

1) 組織の推移と取り組み結果

全建総連の組織数は12月末現在で602,527名、1年間で8,788名の減少となりました。

長野県連の組織数は3月1日現在で16,510名、期首（4月1日）よりマイナス189名となっています。19単組中16単組がマイナスとなっており、厳しい状況が続いています。

組合では、年間加入者100名、期首からの純増を目標に、運動を進めてきました。

2月1日～1月31日の拡大結果は、加入者68名、脱退者126名のマイナス58名となり、4年続けての組織減となりました。

2024年度の特徴点は、加入者の少なさでした。68名という数字は、統計を取り始めた1986年（昭和61年）以降、最低となりました。

支部への加入は25名、7支部が加入者ゼロでした。組合員の内、支部に所属している組合員は55%です。組合にとって支部は欠かすことのできない運営組織です。支部員の確保は喫緊の課題です。

脱退者は、退社、転職・社保加入、高齢・廃業を理由とするものが83%を占めています。高齢を理由とする脱退者数は、70代以降の組合員が組織の16.8%（247名）いることを考えると、30名～40名の高齢を理由とする脱退者はしばらく続くと思います。

組織の弱体化を防ぐためには、脱退者数を補う加入者の確保が必要になります。次年度は、加入者を増やす運動を考えていかなければなりません。

加入紹介者に対する拡大手当（3カ月以上在籍した場合に5,000円）は延べ30名の組合員に支給しました。ご協力に感謝申し上げます。

拡大運動としては、9月に組織部と青年部で、親睦と交流を図るための拡大イベント『BBQ交流会』を開催しましたが、それ以外の具体的な取り組みができなかったのは反省すべき点となりました。

○2024年度組織拡大結果【2025年1月31日現在の組合員数 1,455名】

【内直轄組合員 295名】

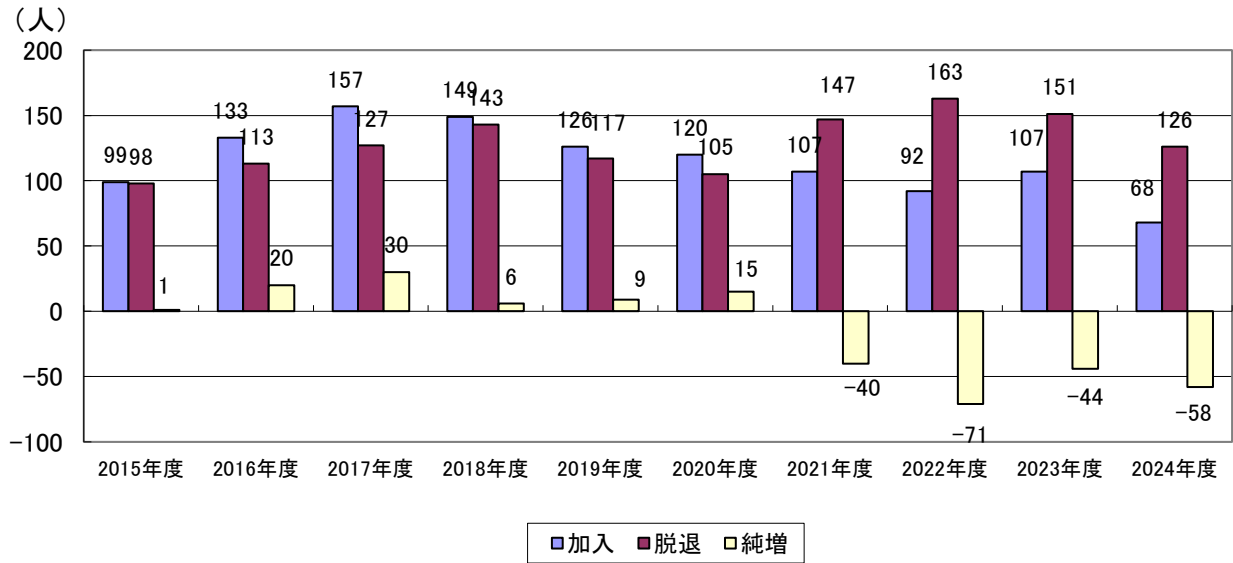
【内第2種組合員 367名】

加入者数 68名（うち第2種組合員 38名）

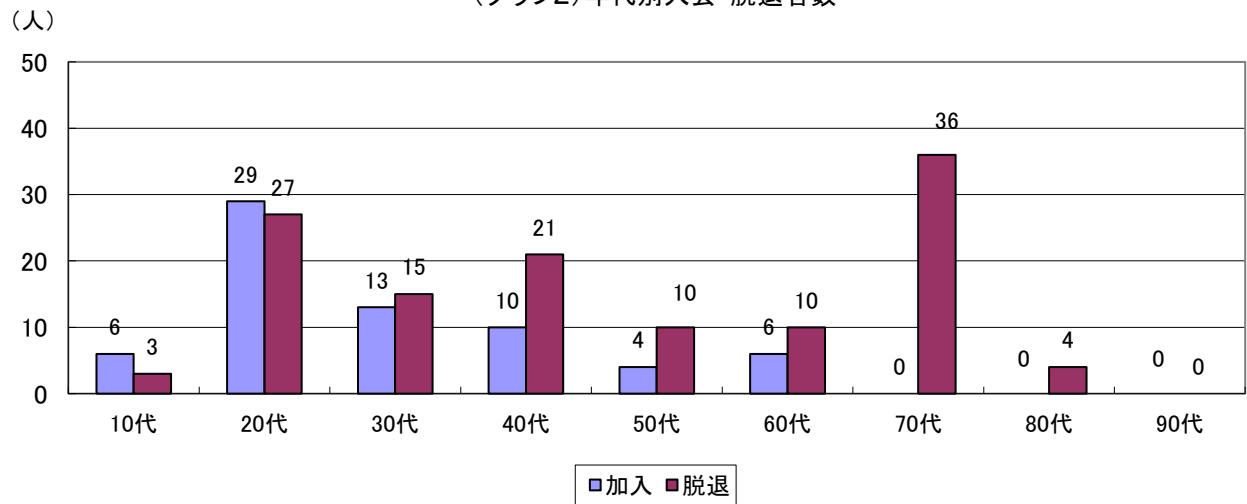
脱退者数 126名（ " 46名）

純 増 -58名（ " -8名）

(グラフ1) 過去10年間の加入・脱退・純増者数

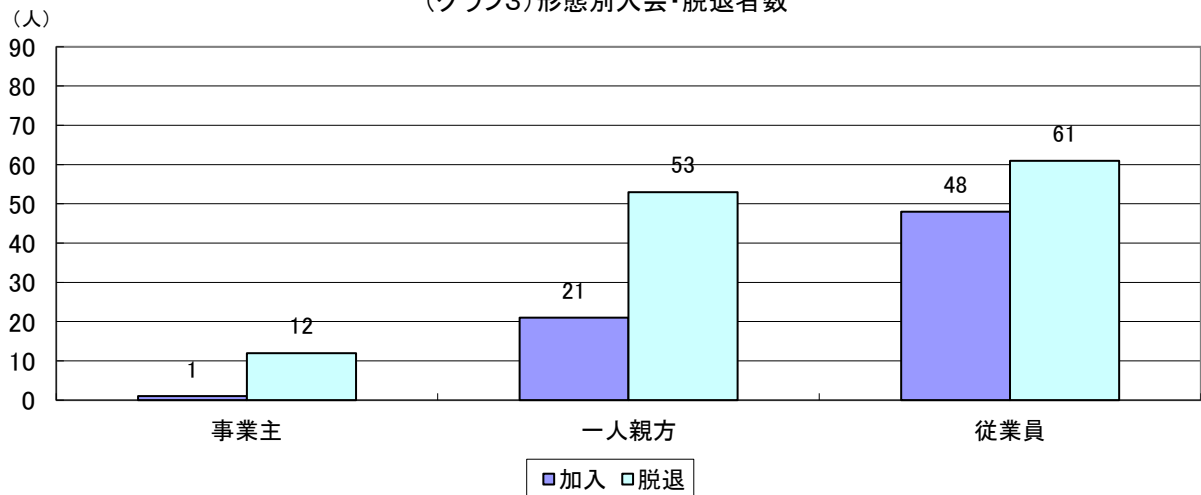


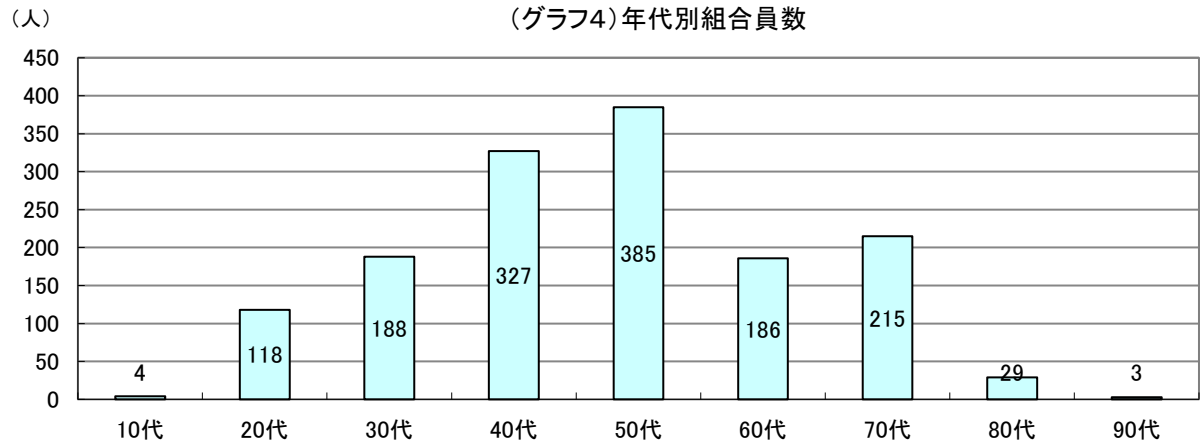
(グラフ2) 年代別入会・脱退者数



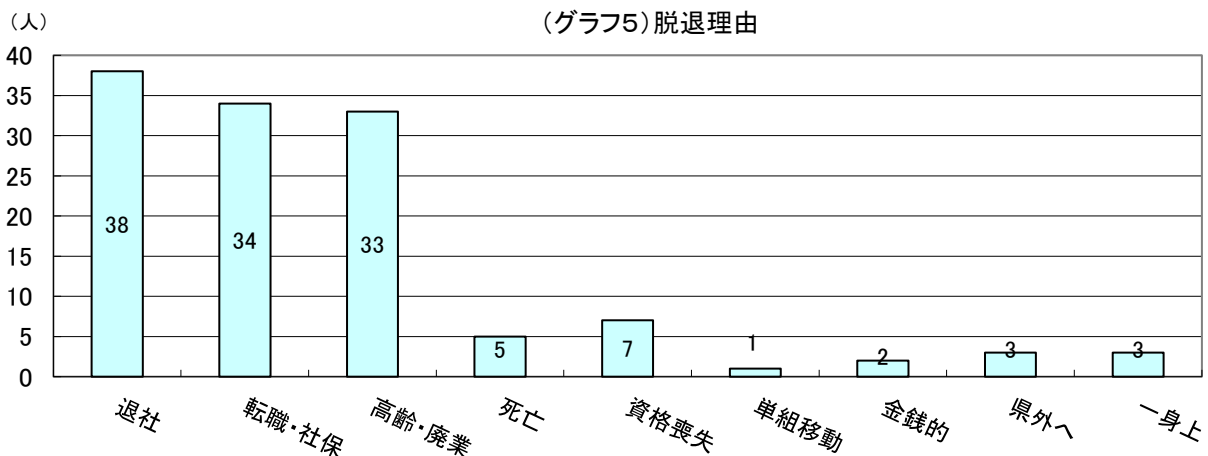
加入者平均年齢33.57歳 脱退者平均年齢50.41歳

(グラフ3) 形態別入会・脱退者数





組合員平均年齢51.83歳



2) 幹部学校の開催

5月に執行委員を対象にした幹部学校を開催。建設労連の宮澤主任書記を講師に招き、能登半島地震被災地での応急仮設木造住宅の現場状況報告と建設労連の歴史についての講演をしていただきました。

終了後には県連、労金、全労済を交え懇親会を開催し、親睦を深めました。

3) 一斉集会の開催

9月には7年ぶりに一斉集会（保険証交付集会）を開催しました。保険証の新規発行が終了になりましたので、保険証交付集会を兼ねた一斉集会は最後となりました。

7年ぶりの開催で出席率が心配されましたが、支部・直轄組合員の長建保加入者の出席率は81%となり、多くの組合員に参加していただきました。

久しぶりに声を掛け合う姿も見かけ、組合員同士の顔合わせの良い機会にもなったようです。

支部役員、参加組合員のご協力に感謝申し上げます。

4) 基礎組織の再構築（支部機能の強化）

組合にとって欠かせないのが支部組織です。支部がなければ組合運営も成り立たなくなります。顔の見えるつながり（集まり）の中で情報交換などを行うのが本来の支部の姿です。

スポーツ大会やお花見などの交流会を開催した支部は僅かでした。顔の見えるつながりを再生しましょう。

現在組合には18支部あり、支部員数も11名から112名と大きな差があります。支部の歴史もあり簡単ではないと思いますが、支部再編（統廃合）について支部内での話し合いをお願いしています。

（2）青年部

青年部は積極的に活動していただきました。例年の活動に加え、中野立志館高校で行われたサテライトインターンシップに参加し建設業の魅力を伝えました。

※サテライトインターンシップ

職場体験の代わりに、企業や団体に来ていただき、将来の人生の目標、進路選択や職業選択を考え、心豊かなライフプランの計画を立てる機会とする。

主な活動

ゴルフコンペ（6月7日）、北信4単組交流球技大会（10月12日）、木工広場（11月3日）、中野立志館高校特別授業（11月6日）、青年協球技大会（11月16日）、研修旅行（2月9日～10日）

（3）教育・宣伝・情報化社会への対応

組合機関紙を毎月発行し、組合員へ必要な情報や、組合活動の報告を行ないました。多くの組合員に見ていただけるよう9月から機関紙をカラー刷りに変えました。組合ホームページでは機関紙で間に合わない情報の発信を行なってきました。組合の存在をPRするため、屋外看板を2カ所、電柱広告を2カ所設置しています。



ホームページ



一斉集会の様子

2. 賃金・住宅・技術・安全対策

(1) 賃金・労働条件改善運動

賃金全国一斉宣伝行動は、3月26日に賃上げを求めるティッシュ配りを長野駅前で行う予定でしたが、天候不良のため中止となりました。

建設業の担い手確保と育成を求め、12月18日に坂城町長と千曲市長と懇談会を実施しました。

建設労連では、2024年も賃金目標（標準額）を「一人前の建設職人の賃金は1日8時間労働で23,000円以上、年収600万円以上とする」として運動を取り組んできました。

建設労連が行なった賃金調査の結果は下記の通りです。

一人親方を含む1日の平均賃金額は前年度を386円上回る17,209円でした。年収平均は431万円でした。1日当たりの平均賃金額は50代後半の18,446円、年収平均は40代後半の504万円がピークとなりました。

賃金目標を獲得していた方は、日額が12%、年収が19%となっています。

土曜休日は、週休2日が18.6%、2回以上休日が48.6%、土曜休日なしが41.8%でした。

	町場工務店の現場			地元住販・不動産の建売現場		
	2024年	2023年	比較	2024年	2023年	比較
大工職【常用】	14,177	13,925	252	15,217	13,371	1,846
大工職【一人親方】	17,383	16,804	579	17,603	18,021	▲418
各職【常用】	13,643	13,281	362	14,840	12,753	2,087
各職【一人親方】	19,629	19,262	367	20,292	20,190	102

	大手プレハブ・住宅会社の現場			ゼネコンの野丁場		
	2024年	2023年	比較	2024年	2023年	比較
大工職【常用】	13,258	12,938	320	14,634	15,266	▲632
大工職【一人親方】	18,729	18,325	404	17,166	17,220	▲54
各職【常用】	14,210	13,267	943	15,283	15,089	194
各職【一人親方】	20,040	19,657	383	21,188	20,624	564

建退共は、一人親方を対象とした任意組合と、事業所が従業員のために加入する際の事務手続きを代行する事務組合を設立して対応しています。

○全建総連厚生協会長埴支部 加入者数 395名 ※1月末現在

○長埴建設退職金共済事務組合 16事業所（加入者数 56名）

（２）住宅対策

2024年1月1日に発生した能登半島地震では、応急仮設木造住宅の建設に取り組み、9団地623戸、41県連・組合から809人の全建総連の仲間が集まりました。長野県からは50人が参加、当組合からは上山田支部の鹿田健之さんが建設に尽力され、被災された方にあたたかな木造の仮設住宅を提供することができました。

支部住宅デーは、18支部中6支部（坂城、上山田、塩崎、東福寺、信更、松代）が取り組みました。刃物研ぎを行なっている支部では「研ぎ手がいなくなっている」ので別の活動を考えないといけない」「研ぎ手が少ないので1人2本に制限した」との意見がありました。

執行部による千曲市保育施設の修繕活動は11施設に対し実施しました。

組合員の仕事確保ツールの一役になればと創設された、組合独自の住宅リフォームお祝い金制度は、4月～2月末で26件：240,000円の申請でした。

CCUS（建設キャリアアップシステム）は、建設労連が認定登録機関になっています。組合では、レベル判定や申請書類の取り次ぎなど申請手続きのサポートを行なってきました。

組合で取り扱っている住宅保証機構のまもりすまい保険（住宅瑕疵担保保険）の保険料は、団体割引が適用されています。

（３）技術・技能・知識向上

講習会や各種試験の情報提供は機関紙等を通じて行なってきました。

一定の資格を取得した場合には、けんろう共済から資格取得祝い金があります。2024年は15件（前年47件）の申請にとどまり、前年に比べ大幅に減少しました。

一部を除き全建総連の資格取得報奨金制度の対象になり、同時に申請がされています。

（４）安全対策の推進

長野労働基準監督署管内における建設業の休業4日以上の労働災害は52件（木造建築工事10件）となりました。死亡事故はありませんでしたが、木造建築の労災事故は倍増しています。

組合で取り扱った組合員の労災事故件数は16件でした。

安全パトロールは8月と12月に管内の建設現場に対し実施しました。良い現場と悪い現場の格差が広がっています。

○2024年度の労災事故取り扱い件数（2024. 2. 1～2025. 1. 31）

・労災事故件数（組合で処理及び把握したもの）

事業主	2件（うち休業4日以上の件数	1件）	前年度	2件（1件）
一人親方	8件（	〃	3件）	9件（2件）
従業員	6件（	〃	2件）	10件（2件）
計	16件（	〃	6件）	21件（5件）

・労災事故の型別発生状況

事故の型	2024年	2023年	増減	構成比
墜落・転落	3	8	-5	19%
転倒	2	3	-1	13%
激突	2	0	2	13%
飛来・落下	0	1	-1	0%
挟まれ・巻き込まれ	0	0	0	0%
切れ・擦れ	4	5	-1	25%
無理な動作	3	1	2	19%
その他	2	3	-1	13%
合計	16	21	-5	100%

○長野労働基準監督署管内の休業4日以上の労災事故発生状況（2024. 1. 1～12. 31）
（事業主、一人親方の労災件数は含まれていません）

	2024年	2023年	増減	前年比
建設業				
土木工事業	16	23	-7	-30.4%
建築工事業	29	17	12	70.6%
内木造建築業	10	5	5	100.0%
その他の建設業	7	9	-2	-22.2%
合計	52	49	3	6.1%

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され
建設業						
土木工事業	3	3	1	4		1
建築工事業	6	4	1	2		
内木造建築業	2			1		
その他の建設業	4	1				
合計	13	8	2	6	0	1

	挟まれ・巻き込まれ	切れ・擦れ	感電	交通事故	無理な動作	その他
建設業						
土木工事業	3	1				
建築工事業	5	4			4	3
内木造建築業	1	2			2	2
その他の建設業		1				1
合計	8	6	0	0	4	4

3. 制度・サービス事業

(1) 長建国保事業

1. 長建国保の運営に欠かすことの出来ない補助金確保運動は、年2回のハガキ要請行動と地元国会議員要請行動を行なってきました。

東京日比谷で行なっている中央総決起大会へは県内の仲間が参加しました。

2025年度の国保組合関係予算の総額は、前年比37.7億円減の2,611億8千万円となりました。被保険者数の減少、医療費は高額療養費の自己負担限度額の引き上げや薬価減額改定などの影響で前年度から減額となり、一人当たりの医療費は前年比3,151円減の216,666円の積算となりましたが、裁量的経費を加味すると現行水準額は確保することが出来ました。

2. 法人事業所の適用除外については、適時その対応をしてきました。法人成りを検討している組合員は事前に組合へ相談していただくようお願いします。

適用除外事業所には、区分申告時に、厚生年金標準報酬月額決定通知書の写しを提出していただき加入資格の確認をしてきました。

3. 組合員、家族の健康管理、病気の早期発見、早期治療のために年2回の健康診断を実施しました。

未受診事業所への呼び掛けを行いました、コロナ前に比べ健診受診者数が100名減少しています。

特定健診（40歳以上75歳未満のすべての保険加入者を対象とした健診）の受診率も3年連続で年次目標を達成できませんでした。

1年間無受診家庭に対する健康家庭感謝事業では60世帯に記念品が贈呈されました。

○組合健診受診者数（2月1日～12月31日）

	2024(R6)年	2023(R5)年	2022(R4)年	2021(R3)年	2020(R2)年
冬期健診	407	379	中止	520	505
夏期健診	580	600	668	586	654
(健診合計)	987	979	668	1,106	1,159
骨検診	廃止	11	27	0	28
前立腺がん検診	163	163	109	162	165
石綿健診	40	40	24	41	33
乳がんマンモ検診	44	51	49	60	57
乳がん超音波検診	41	51	24	66	61
子宮頸がん検診	62	69	56	93	92

○特定検診受診率の推移

※年次目標達成

2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014
65.0	64.9	49.8	68.1	70.4	69.3	68.8	71.1	70.0	69.1

4. 長建国保の補助金制度利用実績（1月1日～12月31日）

項目	2024(R6)年		2023(R5)年		2022(R4)年	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
人間ドック	68	830,000	65	800,000	118	1,330,000
（本人）	56		49		102	
（家族）	12		16		16	
インフルエンザ	348	892,000	426	1,059,300	579	1,380,000
（本人）	138		184		236	
（家族）	210		242		343	
宿泊旅行	364	728,000	416	832,000	285	570,000
（本人）	171		194		134	
（家族）	193		222		151	
脳ドック	6	60,000	6	60,000	6	60,000
乳がん	8	24,000	8	24,000	11	31,000
子宮がん	5	14,000	7	19,000	4	12,000

5. 医療費と保険料の比較（1月1日～12月31日）

		2024(R6)年	2023(R5)年	備 考
保険料額		427,853,000	408,568,400	
内 訳	医療分	284,906,600	276,851,800	
	支援金分	97,436,400	90,144,500	
	介護分	45,510,000	41,572,100	
医 療 費		557,343,500	501,258,910	
内 訳	本人	273,553,460	236,196,060	前期高齢者含む
	家族	283,790,040	265,062,850	未就学、前期高齢者含む
給付率		130.3%	122.7%	

6. 長建国保給付金状況（1月1日～12月31日）

給付内訳種目	2024(R6)年度		2023(R5)年度	
	件数	給付金額	件数	給付金額
高額療養費	261	4,417,753	311	4,213,220
高額介護合算療養費	0	0	0	0
傷病手当金	76	4,815,500	49	3,777,500
配偶者入院見舞金	23	885,000	20	805,000
出産育児一時金	20	10,000,000	12	5,440,000
出産資金貸付金	0	0	0	0
療養費	22	718,201	40	703,522
葬祭費	3	210,000	8	500,000
出産手当金	4	1,568,000	1	392,000
出産給付金	19	570,000	13	390,000
高額療養費貸付金	0	0	0	0
食事療養費	0	0	0	0
合計	428	23,184,454	454	16,221,242

(2) 労働保険事業

事故の多い建設業にとって労災保険はなくてはならない保険です。もしもの場合の従業員や家族に対する責任を考え、該当事業所（組合員）へは、雇用保険とあわせ、加入を勧めてきました。

○事務委託件数	一 元	17事業所（前年度 17事業所）
	二元労災	246事業所（前年度 248事業所）
	二元雇用	160事業所（前年度 161事業所）
	一人親方労災	650人（前年度 670人）

○雇用保険加入事業所離職者数 70人 内離職票作成数31件（前年度50人 内同31件）

(3) 厚生事業

ディズニーツアーはバス2台で実施しました。早々に募集締め切りとなるほど好評でした。宿泊旅行補助制度の利用は、4月～2月末で147件、82万円の利用でした。2023年4月に創設した75歳以上の組合員とその配偶者を対象にしたインフルエンザ補助金は19件の利用がありました。

長建国保より運営補助が出る、健康づくり教室の開催支部は4支部、健康増進事業（スポーツ大会）の開催支部は3支部でした。

(4) 税金対策

申告事前講習会、決算相談会を例年通り実施しました。

(5) 共済福祉事業

1. けんろう共済給付状況（1月1日～12月31日）

	2024(R6)年度		2023(R5)年度	
掛金総額	11,452,400		11,870,200	
給付金額	11,731,000		9,333,500	
給付率	102.4%		78.6%	
◆給付内訳◆	件数	給付金額	件数	給付金額
病気入院	58	2,728,000	57	1,696,000
ケガ入院	8	1,222,000	4	282,000
自宅療養	73	4,342,000	73	4,377,500
結婚祝金	15	420,000	12	336,000
出産祝金	36	1,692,000	25	1,175,000
長寿祝金	4	120,000	5	150,000
小学校入学祝金	41	410,000	48	480,000
中学校入学祝金	54	540,000	42	420,000
資格取得祝金	15	83,000	47	177,000
CCUS助成金	0	0	10	20,000
死亡弔慰金	5	100,000	7	140,000
文書補助料	37	74,000	40	80,000
合計	346	11,731,000	370	9,333,500

全建総連資格取得報奨金	10	61,000	21	93,000
-------------	----	--------	----	--------

2. 執行委員を対象に、こくみん共済coop《全労済》と労金の「制度推進学習会」を5月に開催しました。また、適時チラシを配布し利用の推進を行いました。

昨年9月から新団体年金の取り扱いを始め、一斉集会時に、こくみん共済coopの職員より説明をしていただきました。

また、12月には、全建総連「生命・医療共済『あおぞら』」の取り扱いを始め、DMやチラシの配布で周知を行いました。

○主なこくみん共済coop《全労済》の加入状況（2024年12月31日現在）

	加入件数		加入口数	
	2024年	2023年	2024年	2023年
団体生命共済	2,704	2,787	110,415	113,190
火災共済	1,517	1,566	89,312	92,190
自然災害共済	86	91	17,020	17,400
交通災害共済	1,535	1,588	23,195	23,995
慶弔共済	4,419	4,572	26,514	27,432
終身共済	11	9	980	820
個人長期生命共済	12	12	735	725
個人年金共済	10	10	2,748	2,748
マイカー共済	278	263	69,848	66,177
自賠責共済	6	6	1,800	1,900
こくみん共済	192	189	33,094	34,742

○助け合い共済給付状況（含火災・団生任意）（期間2023.6～2024.5）

	2024年	2023年
掛金総額	41,465,482	40,752,916
給付金額	25,518,300	18,863,706
給付率	61.5%	46.3%

給付内訳	2024年		2023年	
	件数	給付金額	件数	給付金額
死亡・重度障害	7	19,070,000	4	12,000,000
後遺障害	0	0	0	0
事故による入院	7	339,000	11	1,181,000
交通事故による入院	0	0	2	48,000
交通事故による通院	5	550,500	8	1,113,750
火災による給付	3	67,800	8	244,956
家族の死亡	69	4,794,000	70	3,556,000
傷病見舞金	83	232,000	96	272,000
結婚祝金	16	128,000	3	24,000
出生祝金	31	93,000	32	96,000
銀婚祝金	2	10,000	4	20,000
就学祝金	117	234,000	154	308,000
合計	340	25,518,300	392	18,863,706

3. 労金の取引状況は下記の通りとなっております。

一斉集会時に、労金職員よりローンの説明をしていただきました。借り換え相談で返済負担の軽減をされた方もいました。

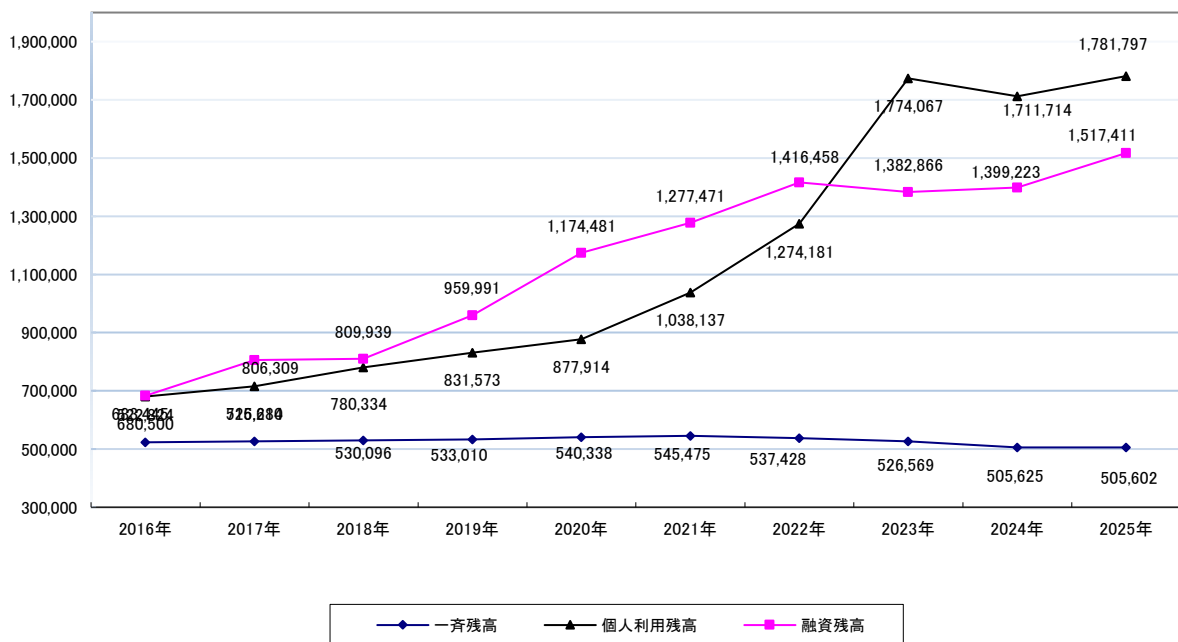
労金利用拡大キャンペーンとして、預金、融資利用者にクオカードをプレゼントする企画を夏・冬2回行ないました。

○労金取引状況

		2025. 1. 31		2024. 1. 31	
預金残高	一斉積立	1,091件	505,602千円	1,150件	505,625千円
	個人利用	3,193件	1,781,797千円	3,274件	1,711,714千円
	計	4,284件	2,287,399千円	4,424件	2,217,339千円
借入残高	証書貸付	146件	1,500,923千円	139件	1,382,688千円
	マイプラン	56件	16,488千円	56件	16,535千円
	計	202件	1,517,411千円	195件	1,399,223千円

○一斉積立・融資残高の推移（1月31日現在）

（単位:千円）



4. 家庭常備薬の安価斡旋については、夏・冬あわせ83名の組合員が利用しました。

5. ガン保険（アメリカンファミリー）、現場賠償共済（パートナー）の取り扱い、ゼンリン住宅地図やマツダ車の斡旋を行なってきました。

6. こくみん共済coop《全労済》で加入できない法人名義の自動車や業務用車両の自動車共済、作業場や事務所の火災共済については、関東自動車共済協同組合、長野県火災共済協同組合と提携し取り扱っています。

4. 組合財政

2024年度4会計（一般・国保・劳保・共済）合同収支の繰越金を除く収入合計は6,732万円、支出合計は6,493万円で2024年度の単年度収支は239万円のプラスになりました。

特別会計への繰り入れを除く経常収支では、収入合計が、前年に比べ196万円の収入減、支出合計は、前年に比べ271万円の支出増となりました。

収入の部では、組合員数の減少により、組合費収入が前年比189万円のマイナス、労働保険や共済事業の事務費収入も組合員の減少に伴い減少しました。

国保事務に関しては、長建国保からの事務費が10月より330円から400円に引き上げられたことにより微増しました。

全体的には、ほぼ予算通りの執行がされました。

支出の部も大方は予算通りの執行となりました。

能登半島地震での被災組合、被災組合員に対する支援金（150,300円）は組織活動費より支出しました。

執行率の違いの大きいものを上げると、

①備品費は、2階会議室の会議机と椅子を買い換えたので執行率が380%と高くなりました。（184万円）

②公租公課は、消費税の中間納付がなかったため執行率が53%となりました。

組合費等の口座振替は毎月3%前後の方が翌月繰越となっています。指定日振替へのご協力をお願いします。

収益事業課税については、顧問税理士を通じて申告しました。

法人市県民税81,000円

消費税600,000円（内、316,900円は前年度に中間納付済）

5. 表彰者氏名（敬称略）

永年功労賞（16名）

（戸 倉）坂井信栄 （屋 代）山崎達也 （篠ノ井）小池秀幸、栗林 廣
（塩 崎）柳澤匡成 （川中島）島田喜博 （更 北）平坂栄治
（松 代）小山 淳、小山勝巳
（直 轄）和田政一、正村 篤、金子伸一、松林節男
（2 種）葛西 浩、吉田貞夫、米沢洋子

拡大功労賞（純増達成 4 支部）

戸倉支部（純増 2 名） 篠ノ井支部（純増 1 名） 川柳共和（純増 1 名）
信更支部（純増 3 名）

6. 物故者氏名（敬称略）

4 名の組合員が逝去されました。慎んでお悔やみ申し上げます。

常盤勇夫	川中島支部	78歳	2024. 3. 7
堀内一男	2 種	77歳	2024. 3. 11
上原朱美	2 種	61歳	2024. 6. 14
宮下和典	塩 崎支部	59歳	2024. 11. 5

2024年度経過報告

(3月)

- 27日(水) 第73回定期総会(更埴文化会館)
- 31日(日) 雨宮支部総会(あらい食堂)

(4月)

- 5日(金) 第1回三役会(組合会館)
- 5日(金) 第1回執行委員会(組合会館)
- 11日(木) 訓練校修了式・入校式(訓練校)
- 12日(金) 県連第2部会(県連)
- 13日(土) 県連青年協第40回定期大会(県連)
 - ・県連青年協第40周年記念式典
(モンターニュ松本)
- 18日(木) 県連第1部会(県連)
- 22日(月) 県連四役専門部長会議(県連)
- 24日(水) こくみん共済coop第3回運営委員会
(自治会館)
- 25日(木) 労金第1回運営委員会(労金本店)
- 25～26日 県連第6回執行委員会
(県連・モンターニュ松本)
- 26日(金) 新旧役員引継ぎ会(ひさご)
- 27日(土) 青年部第1回執行委員会
(JOYJOY千曲屋代店)

(5月)

- 10日(金) 第2回三役会(圓山荘)
 - ・2024年度幹部学校(圓山荘)
- 10日(金) 第2回執行委員会(組合会館)
 - ・労金、こくみん共済coop制度学習会
(圓山荘)
- 14日(火) 県連工務店協会第4回理事会(WEB)
- 17日(金) 訓練協会第55回通常総会(訓練センター)
- 21日(火) 労働災害防止連絡会(長水建設会館)
- 22日(水) 東北信ブロック会議(びっくわん)
- 29日(水) 労金第1回青年女性委員会(更埴支店)
- 30日(木) 県連第78回定期大会(キッセイ文化ホール)

(6月)

- 1日(土) 労金青年女性委員会ボランティア
(姨捨棚田植え)
- 7日(金) 青年部ゴルフコンペ(ウィーゴCC)
 - ・労金第2回運営委員会(あんずホール)
 - ・労金会員代表者会議(あんずホール)
- 11日(火) 県連第1回執行委員会(県連)
- 12日(水) 県連青年協第1回幹事会(県連)

- 13日(木) こくみん共済coop春季地域集会
(グリーンパレス)
- 14日(金) 県連保険指導員研修会
(松本勤労者福祉センター)
 - ・第3回三役会(組合会館)
- 17日(月) 国保事務担当者会議(WEB)
- 19日(水) 労保事務研修(WEB)
- 20日(木) 県連工務店協会第42回通常総会(県連)
- 30日(日) 上山田支部住宅デー、スポーツ大会
(戸倉上山田中学校)
 - ・松代支部住宅デー(現金屋)

(7月)

- 4日(木) 長建国保理事会(県連)
- 9日(火) 県連第1部会(県連)
- 10日(水) 県連第4部会(県連)
- 12日(金) 若林議員要請行動(議員会館)
 - ・全建総連中央総決起大会(日比谷)
 - ・全労済担当者書記研修(生涯学習センター)
- 13日(土) 労金青年女性委員会ボランティア
(姨捨棚田草刈り)
- 17日(水) こくみん共済coop第4回運営委員会
(ホクト文化ホール)
- 19日(金) 県連労働幹部学校(県連&WEB)
 - ・第4回三役会(組合会館)
- 19日(金) 第2回執行委員会(組合会館)
- 20日(土) 青年部暑気払い(幸先)
- 21日(日) 塩崎支部ボウリング大会(アピナボウル)
- 23日(火) 県連四役専門部長会議(県連)
- 24日(水) 長建国保第110回組合会(県連)
- 25日(木) 埴生支部暑気払い(きばらし)
 - ・将軍塚まつり第2回企画委員会(古墳館)
- 30日(火) 全労済総代会(ホテルブエナビスタ)
- 31日(水) 労金更埴支店運営委員会団結会(更埴支店)

(8月)

- 2日(金) 県連第2回執行委員会(県連)
 - ・労保推進員研修会(WEB)
- 14～16日 夏期休暇【休館】
- 21日(水) 安全パトロール
 - ・第5回三役会(組合会館)
- 28日(水) 労保事務組合指導監査(組合会館)
- 29日(木) 労金拡大運営委員会(更埴支店)

(9月)

- 1日(日) 東福寺支部住宅デー(東犀南東公園)
2日(月) 一斉集会(屋代公民館)
3日(火) 一斉集会(千曲市総合観光会館)
4日(水) 県連工務店協会理事会(WEB)
5日(木) 一斉集会(グリーンパレス)
6日(金) 県連青年協第2回幹事会(県連)
9日(月) 一斉集会(グリーンパレス)
12日(木) 一斉集会(松代公民館)
13日(金) 一斉集会(埴生公民館)
15日(日) 上山田支部住宅デー
18日(水) 県連第1部会(県連)
・県連第4部会(県連)
・第6回三役会(組合会館)
20日(金) 一斉集会(更北公民館)
21日(土) BBQ交流会(合戦場公園)
24日(火) 一斉集会(更北公民館)
25日(水) 中期会計監査(組合会館)
・労金青年女性委員会(更埴支店)
26日(木) 青年部第3回執行委員会(組合会館)
27日(金) 県連第3回執行委員会(県連)
28日(土) 労金青年女性委員会棚田稲刈り
29日(日) 東福寺支部マレットゴルフ大会(茶臼山)

(10月)

- 1日(火) 県連組織拡大出陣式(WEB)
・中野立志館高校特変授業打合せ
(中野立志館高校)
4日(金) 千曲市修繕活動事前調査
10日(木) 第7回三役会(組合会館)
12日(土) 労金青年女性委員会棚田脱穀
・北信4単組青年部ボウリング大会
(ヤングファラオ)
16日(水) 第8回三役会(組合会館)
16日(水) 第4回執行委員会(組合会館)
17日(木) 將軍塚まつり企画委員会(古墳館)
18日(金) 県連事務担当者会議
(県連・モニターニュ松本)
20日(日) 塩崎支部住宅デー
・坂城支部住宅デー
21日(月) 中野立志館高校特変授業打合せ会議
(組合会館)
23日(水) 全労済第1回運営委員会
(シャトレゼホテル)
23～25日 全建総連第65回定期大会(横浜市)
30～11/1 青年部木工広場加工

(11月)

- 3日(日) 將軍塚まつり【青年部木工広場】
6日(水) 中野立志館高校特変授業
8日(金) 県連共済制度サービス・
労働対策活動者会議(WEB)
・ろうきん運動推進会議(更埴支店)
9日(土) 執行部千曲市児童施設修繕活動
・埴生支部ゴルフコンペ(川中島CC)
・東福寺支部健康づくり教室(さいなみ食堂)
10～11日 第28回全国青協幹部会議(静岡県)
13日(水) 県連第4部会(県連)
15日(金) 県連第1部会(県連)
・全労済秋季推進会議(シャトレゼホテル)
16日(土) 県連青年協球技大会(松本アピナボウル)
・ろうきん親子アニメ祭(上山田文化会館)
19日(火) 県連四役専門部長会議(県連)
21日(木) 全建総連中央総決起大会(東京・日比谷)
24日(日) 信更支部住宅デー

(12月)

- 4日(水) 安全パトロール
・県連下請従事者会議(県連)
7日(土) ディズニーツアー
10日(火) 県連第4回執行委員会(県連)
18日(水) 自治体懇談会(千曲市・坂城町)
28日～1/5 年末年始休み

(1月)

- 6日(月) 仕事始め式
8日(水) 県連青年協第3回幹事会(県連)
10日(金) 稲荷山支部総会(大寿司)
・第8回三役会(組合会館)
10日(金) 第5回執行委員会(ホテル圓山荘)
・新年会(ホテル圓山荘)
15日(水) 県連税金指導員会議(WEB)
・申告事前講習会(組合会館)
17日(金) 県連第1部会(県連)
18日(土) 倉科森支部総会(清水屋)
・信里支部総会(亀屋)
19日(日) 塩崎支部健康づくり教室(佐渡鮎)
・塩崎支部総会(佐渡鮎)
20日(月) こくみん共済coop第2回運営委員会
(自治会館)
21日(火) 県連第4部会(県連)
24日(金) 労金第5回運営委員会(更埴支店)
25日(土) 埴生支部新年会(上山田ホテル)
・川柳共和支部総会(西陣)

25～26日 北信越青年協役員会（相鉄フレッサイン）
26日（日）松代支部総会（サンホール松代）
27日（月）県連四役専門部長会議（県連）
28日（火）長建国保理事会（県連）

（2月）

4日（火）県連第5回執行委員会（県連）
4～7日 冬期健康診断（組合）
7日（金）労働災害保険事務担当者会議（WEB）
9～10日 青年部研修旅行（東京・横浜）
10～14日 冬期健康診断（健康づくり事業団）
12日（水）決算相談会（組合会館）
14日（金）労保事務担当者会議（戸倉上山田商工会）
15日（土）屋代支部総会（藤屋旅館）
21日（金）県連工務店協会第3回理事会（WEB）
23日（日）八幡支部健康づくり教室（鴻月）
・八幡支部総会（鴻月）
25日（火）労金書記さん会議（更埴支店・美山亭）
26日（水）長建国保理事会（県連）
・長建国保組合会（県連）
・労金青年女性委員会（更埴支店）
27日（木）後期会計監査（組合会館）
・第9回三役会、財政部会（組合会館）

（3月）

2日（日）埴生支部健康づくり教室（圓山荘）
・埴生支部総会（圓山荘）
4日（火）第10回三役会（組合会館）
・第6回執行委員会（組合会館）
7日（金）長野労働局交渉（長野労働局）
8日（土）東福寺支部総会（ひさご）
9日（日）上山田支部総会（山風荘）
10日（月）県連青年協第4回幹事会（県連）
14日（金）青年部第53回定期総会（組合会館）
18日（火）県連賃金対策活動者会議（県連）
19日（水）県連仕事対策活動者会議（県連）
21日（金）県連組織拡大総括会議（WEB）
24日（月）県連国保事務担当者会議（WEB）
25日（火）3.25駅頭宣伝行動（長野駅前）
26日（水）第74回定期総会（あんずホール）

2025年度運動方針（案）

1. 組織・教宣対策

（1）組織拡大、組織強化、活性化に向けて

少子高齢化、人口減少に伴う建設従事者の減少、後期高齢者医療制度への移行に伴う脱退や高齢による廃業など組織拡大をめぐる情勢は大変厳しいものがあります。

事業所入社や適用除外による加入が増え、親方・仲間の紹介による加入者が、昨年は2.8%でした。

組合の良さは、仲間のつながり、人づくりです。積極的な声掛けで仲間を増やしていきましょう。

若年層・青年層の拡大には、同世代である青年部の力（発想力・行動力）が必要となります。

本年度は前年度の反省を踏まえ、加入者を増やす拡大運動に力を入れていきます。

組合活動・事業を弱体化させないためにも年間純増達成をめざし、組合員一丸となって取り組みましょう。

1) 拡大目標と行動計画

①2025年度の拡大目標は、年間加入者100名、期首からの純増を目標とします。各支部においても期首からの純増を目標とします。

②人の集まる場所での勧誘行動。

③事業所訪問の実施。

④組合員一人ひとりが、近所や現場で「組合に入っているかい？」と呼び掛ける『ひと声運動』を年間通じて行なう。

⑤支部で学習会を開き、組合員が組合制度についての理解を深める。

⑥わかりやすい資料、メリットが目に見える資料の検討。

⑦加入紹介者に対する拡大手当（5,000円）の支給を継続する。

※建設労連では、年間を通じ拡大キャンペーンを実施し、加入紹介者を対象にした抽選会を実施します。

⑧加入金の免除を継続し、加入時の負担軽減をはかる。

⑨加入後3年間はできるだけ支部内の役員を免除する。

2) 幹部学校の開催

5月に執行委員を対象とした幹部学校の開催を計画し、組合事業や制度への理解を深めていきます。

3) 組合基礎組織の再構築（支部機能の強化を図る）

組合にとって基礎組織（支部・班）はすべての運動の要です。『顔の見えるつながり（対面での集まり）』が仲間としての連帯感を高めます。

支部事業の活性化のため、支部活動費補助金を交付しています。限られた金額ですが、支部員同士の交流が図れるような学習会やレクリエーションを検討して下さい。

一定の支部機能を維持し、組合員としての権利、義務、負担の平等性が保たれるためには支部の平準化が必要です。

支部の再編（統廃合）については、支部の将来を見据えて支部内での話し合いをお願いします。

支部の弱体化を防ぐため、2017年度より、支部のある地域の新規加入希望者は必ず支部に所属していただくことになっています。

（2）青年部

組合も若い仲間の結集が喫緊の課題です。青年部として頑張ってきた世代がこれから組合のけん引役となっていきます。

組合の未来の担い手となっていくのが青年部層であり、活動の中、懇親の中で仲間意識を深めていくことはとても大切です。

青年部活動を行っていく上での問題や悩みがあれば共有し、話し合いの中で対応を検討していきます。

主婦の会は2022年度をもって休会となりました。必要な事業、要望のある事業については組合として計画していきます。

（3）教育・宣伝・情報化社会への対応

組合の活動状況を仲間に伝え、意識を共有する手段として機関紙（お知らせ&NEWS、建労ながの）の果たす役割は大変重要です。機関紙は必ず目を通していただくことをお願いします。

各支部は最低年1回、組合機関紙への投稿をお願いします。他支部の状況を知ることとは、支部の活性化にもつながっていきます。

ホームページは未加入者に組合を知っていただく機会にもなります。必要な情報を発信できるよう更新していきます。

現在、篠ノ井バイパス交差点と会館への入口道路に屋外看板を設置しています。組合のPR対策として、SNSを活用した組合PRやLINEを使った情報発信なども検討していきます。

2. 賃金・技術・住宅・安全対策

(1) 賃金・労働条件改善運動

帝国データバンクの調査では、71%の企業が初任給を引き上げると答えました。引き上げ額は平均で9,114円、人手不足による採用難から引き上げに踏み切る企業が増えているようです。引き上げる企業の割合は、中小企業が71.4%と大企業の69.6%を上回りました。小規模企業は62.2%でした。

建設業界の賃上げも、深刻な職人不足、2024年問題による残業規制、政府の賃上げ推進策など、複数の要因が重なり、大手を中心に6%を超える賃上げが実施される見込みです。

2025年3月から適用される公共工事設計労務単価は、全国平均で前年比6.0%の引き上げ、13年連続の引き上げとなりました。

労務単価には、事業主が負担すべき人件費（必要経費分）は含まれていません。よって、下請代金に必要経費分を計上しない、又は下請代金から値引くことは不当行為です。労務単価は、労働者本人が受け取るべき賃金ですが、実態は現場労働者に届いていません。引き続き、自治体や元請け企業に働きかけていく必要があります。

長野県の主な職種の設計労務単価は次の通りです。

職種	2024年3月	2025年3月	比較	上昇率
大工	28,200	29,400	1,200	4.3%
型枠工	26,400	27,500	1,100	4.2%
左官工	25,500	27,000	1,500	5.9%
板金工	29,300	30,600	1,300	4.4%
塗装工	27,700	28,900	1,200	4.3%
鳶工	27,500	28,600	1,100	4.0%
石工	28,800	29,700	900	3.1%
造園工	24,900	25,700	800	3.2%
ブロック工	27,100	28,000	900	3.3%
電工	25,400	27,200	1,800	7.1%
設備機械工	26,400	27,600	1,200	4.5%
鉄筋工	26,600	27,700	1,100	4.1%
配管工	24,900	26,100	1,200	4.8%
鉄骨工	26,600	27,700	1,100	4.1%
はつり工	28,700	29,900	1,200	4.2%
ダクト工	25,500	27,600	2,100	8.2%
保温工	26,100	27,300	1,200	4.6%
防水工	28,800	30,000	1,200	4.2%
建具工	25,700	27,100	1,400	5.4%
サッシ工	29,200	30,400	1,200	4.1%
ガラス工	30,100	31,300	1,200	4.0%
溶接工	29,500	31,800	2,300	7.8%
内装工	30,600	31,900	1,300	4.2%
土木（特殊作業員）	26,200	27,300	1,100	4.2%
土木（普通作業員）	23,200	24,100	900	3.9%
土木（軽作業員）	17,800	18,500	700	3.9%

建設労連では、2025年度の賃金目標（標準額）を、昨年度同様

「後継者を育てるために必要な賃金（この業界に若い人に入職してもらえる賃金）で、一人前の建設職人の賃金は、一日8時間労働で2万3千円以上、年収では600万円以上」とする。

として、運動を進めていくことになりました。

埼玉県八潮市で起きた大規模な道路陥没事故を受けて、政府は国土強じん化に向けた新たな計画に、上下水道管の集中的な修繕や更新を進めるなどとした老朽インフラ対策を盛り込むことになりました。

建設技能者は大幅に減少しており、技能者がいなければインフラ整備も進まなくなります。

第3次担い手3法が成立しました。新3K（給料を引き上げる・休日増の実現・希望が持てる業界へ）を実現し、将来を展望できる持続可能な建設業に変えていかなければなりません。

具体的方針

- ①自治体要請行動、地元企業との懇談会の実施
- ②賃金実態調査への協力
- ③建退共の加入促進
- ④組合員それぞれの立場で賃金アップの要求・請求行動
 - ・法定福利費を負担する事業主は、標準見積書を活用して請求
 - ・一人親方は実情にあった経費を盛り込んで請求
 - ・従業員は事業主への賃金アップを要求
- ⑤全国一斉宣伝行動への参加
- ⑥建設キャリアアップシステム（CCUS）登録希望者へのサポート



第三次・担い手3法リーフレット

（２）住宅対策

2024年1月1日に発生した能登半島地震では、木造住宅全体の大破、倒壊・崩壊の割合は30.5%で無被害の21.6%を上回りました。特に、1981年以前の無被害率は12.5%と更に少なくなっています。一方、2000年以降の無被害率は65.5%大破、倒壊・崩壊は2%にとどまっており、一定の安全性が示された形となりました。

災害時の応急仮設住宅として、木造住宅の需要が増えています。引き続き協力組合員登録の募集を進めていきます。

2025年4月に施行される改正建築基準法、建築物省エネ法の改正は建築業界に大きな影響があります。この改正により、設計業務における申請手続きの増加だけでなく、審査期間の長期化で施工の分野へのしわ寄せも考えられます。

引き続き、情報提供を行っていきます。

地域に職人の存在をPRする場が住宅デーです。多くの支部で積極的に計画していただくようお願いします。

具体的方針

①住宅リフォームお祝い金制度は今年も引き続き実施します。実施期間は4月1日～翌3月31日で予算額（30万円）に達し次第終了します。

より多くの事業所に利用してもらうため、1事業所5件までと制限を設けます。

②自治体要請行動の実施

③住宅デーの実施

④長野県工務店協会（ゆうゆうClub21）を通じた工務店支援の取り組み

⑤応急仮設木造住宅協力組合員登録の促進

（３）技術・技能・知識向上

必要な講習会、研修会の開催情報や各職種に対応する資格試験、特別研修等に関する情報をその都度提供していきます。

けんろう共済の資格取得祝い金、日建学院や総合学院との提携による学費割引も引き続き行なっていますので活用下さい。資格取得については全建総連でも資格取得報奨金制度があります。

（４）安全対策の推進

組合では木建安全対策委員会の事業を引継ぎ、独自の安全計画をたて労働災害防止を呼びかけていきます。

具体的方針

①安全パトロールの実施（年2回）。

②作業現場で働く際に必要な資格、免許等取得についての情報を提供します。

③安全用具や各種標示板の斡旋。

3. 制 度 ・ サ ー ビ ス 事 業

(1) 長建国保事業

1. 本年度も国庫補助金の現行水準確保を求め、夏冬年2回のハガキ要請行動（夏冬とも一人3枚ずつ）、全建総連予算要求中央総決起大会等への参加、地元国会議員への要請行動を行っていきます。
2. 昨年12月をもって『被保険者証が廃止され、マイナ保険証に移行されました。』
保険証は廃止されますが、マイナ保険証を持っている人には「**資格情報のお知らせ**」を、持っていない人には「**資格確認証**」を発行します。
3. 長建国保の保険料は現行保険料では単年度赤字決算は免れないとの判断により、世帯平均月額900円の引き上げとなります。
(2025年度保険料額表は本冊の第2部を参照して下さい。)
4. 特定健診・特定保健指導は第4期6か年計画が始まりました。
組合健診は8月と2月に実施を計画します。女性検診（乳がん検診・子宮頸がん検診）は年1回8月検診時に開催します。
40歳から74歳に義務付けられている特定検診の受診率ですが、コロナで健診が中止となった2021年を境に受診者が減少しました。
夏期健診実施後の未受診者リストの活用、事業所への呼びかけなどを行い、受診率の回復をはかっていきます。

受診率は、①組合健診を受診
②医療機関の人間ドックを受診し、組合に健診データを提出する
③勤務先で事業所健診を受け、健診データを組合に提出する
で反映されます。

また、健診後、生活改善が必要な方は、健康支援（動機づけ支援、積極的支援）対象となります。対象となった方は積極的に健康支援を受けて下さい。
5. 健康家庭感謝事業として、1年間無受診世帯へ記念品が進呈されます。特定健診未受診者がいる場合は対象から除外されます。
6. 資格の適正化については、建設業証明書類の添付義務を求めながら資格確認の徹底をはかっていきます。適用除外法人事業所は毎年、厚生年金標準報酬月額決定通知書の写しを提出して頂きますのでご協力をお願いします。

7. 長建国保既加入組合員が新たに法人を設立した場合は、適用除外申請をすることにより長建国保に残れます。設立前に必ず組合へ相談し、手続きの準備をお願いします。

個人事業所であっても、事業主および同居家族従業員を除く従業員が5人以上いれば従業員は適用除外の対象です。また、現在長建国保加入者が組織外の法人事業所に勤める場合も、長建国保に残る（適用除外）ことが出来ます。

8. マイナンバーは適正な取り扱いに努めます。

9. 加入者全員（家族を含め）が健康保険の使い方に気を配り、国保財政を安定させるための協力をお願いします。

（２）労働保険事業

建設業では、元請をする事業所（一人親方も含む）、従業員がいる事業所（下請であっても）は労災保険への法的加入義務（強制）があります。

また、現場の労災保険では補償してもらえない一人親方や、事業主及びその家族には、任意の特別加入制度がありますので、加入を呼びかけていきます。

組合員の皆さんも自分の下請が労災保険に加入しているか確かめ、加入していない場合には加入を勧めましょう。

（３）厚生事業

組合本部としては

組合宿泊旅行補助制度の継続を行います。長建国保の宿泊補助制度との併用も可能です。ディズニーツアーの実施も計画していきます。

75歳以上の組合員とその配偶者を対象にインフルエンザ予防接種の補助金制度も継続します。

各支部では

支部員同士の顔を合わす機会が減っています。球技大会（マレットゴルフやボウリング等）、健康づくり教室、旅行、懇親会などを計画・実施をお願いします。

長建国保の補助事業として「健康づくり教室」「スポーツ大会」「料理教室」を開催した場合には補助金がでます。（補助要件あり）

組合員（配偶者の参加も歓迎）同士の繋がり場にもなりますので、補助事業を積極的に活用しましょう。

（４）税金対策

申告事前講習会、決算相談会を例年どおり計画いたします。

事前講習会、決算相談会の実施は本年度が最後となります。

(5) 共済福祉事業

1. けんろう共済、国保医療共済は、建設労連独自共済として大変心強い制度です。
2. こくみん共済coopの各種共済制度の加入促進、労金の利用促進を推進、制度説明会の開催を計画していきます。
3. 現場賠償責任共済パートナー、家庭常備薬の安価斡旋、アフラック（ガン保険、医療保険）の取り扱い、ゼンリン住宅地図の斡旋等を引き続き行っていきます。
4. 「けんろうカード」は提携施設で、組合員とその家族が割引サービスを受けられます。順次提携先の拡大を進めていますので、知り合いの業者等をご紹介します。
5. 事業用車両、法人車両、事業用建物、建築中の建物などの共済については、けんろう自動車共済、けんろう火災共済で取り扱っていきます。
6. 建設業許可、法人設立などについては、建設労連と提携している業者を紹介していきます。

4. 組合財政

組合は透明な財政運営を心掛け、組合活動、組合事業が積極的に機能するよう、適正かつ正確な会計処理と共に、財政の健全化をはかっていきます。

- ① 2025年度予算の編成に当たりましては、前年決算を参考にしながら計上しました。
- ② 青年部補助金は、青年部会計の繰越金が一定額あったことから補助金予算は計上していませんでしたが、2025年度より補助金計上を復活します。
- ③ 特別会計、永年功労支払準備金に、10年分の準備金として1,000万円計上します。
- ④ 法人税の申告、消費税の申告については顧問税理士を通じ申告します。

2024年度・2025年度 本部役員名簿

2024年4月1日～2026年3月31日

役 職	氏 名	職 種	所 属 支 部
組 合 長	山 崎 康 成	土 木	東福寺支部
副 組 合 長	瀧 澤 信 雄	大 工	埴 生支部
〃	竹 内 久	鉄 工	戸 倉支部
書 記 長	安 川 勇	大 工	更 北支部
会 計 監 査	丸 山 真 哉	大 工	上山田支部
〃	神 谷 誠 一	屋 根	屋 代支部
〃	山 崎 勝 偉	電 気	塩 崎支部
顧 問	小 林 茂 雄	電 気	信 更支部

2026年度・2027年度 本部役員名簿

2026年4月1日～2028年3月31日

役 職	氏 名	職 種	所 属 支 部
組 合 長			
副 組 合 長			
〃			
〃			
書 記 長			
会 計 監 査			
〃			
〃			
顧 問			

第74回定期総会スローガン(案)

一、持続可能な組合にすべく新しい仲間を増やそう！

現場でひと声、未加入者に組合を勧めよう！！

一、改正担い手3法を好機と捉え、

新3K（給料・休日・希望）現場の実現を目指そう！！

一、共済制度サービスを充実させ、組合の魅力を増やそう！！

一、受けよう健診、受けよう健康支援

家族の笑顔 守るため！！